

消化器内科 研修登録医プログラム3

プログラム名：胆膵疾患の診断と内視鏡的治療に関する包括的理解

目 標：

- 1) 胆道・膵疾患（胆管結石、閉塞性黄疸、胆管炎、膵癌、胆道癌、自己免疫性膵炎など）の病態、診断および治療戦略を理解する
- 2) 胆膵疾患に対する画像診断（CT、MRI/MRCP、EUS、ERCP）と内視鏡診断の役割を理解する
- 3) ERCP、interventional EUSの適応、手技の流れ、診断的・治療的意義を理解する
- 4) 胆道ドレナージ、EST、ステント留置、結石治療などの内視鏡的治療の基本的考え方を習得する
- 5) ERCP・interventional EUS関連偶発症（膵炎、出血、穿孔、胆管炎）とその予防・初期対応を理解する
- 6) 胆膵疾患患者に対する治療方針決定のプロセスを、カンファレンスや症例検討を通じて習得する
- 7) 胆膵領域に関する最新の知見を文献的に学び、症例ベースで説明できるようになる

方 略：

- 1) 期間・研修開始時期：3ヶ月（12日間）・任意に設定できる
- 2) 指 導 医：大山 広（講師、消化器内科）
- 3) 募集定員：同一時期に2名まで
- 4) 研修内容：
 - ① 胆膵疾患の診断に必要な病歴、血液検査、画像検査所見の解釈を学ぶ
 - ② CT、MRI/MRCP、EUS、ERCPなどを用いた胆膵画像診断の読影に参加する
 - ③ ERCP、interventional EUSの適応判断、治療方針決定、処置前評価について学ぶ
 - ④ ERCPによる選択的胆管・膵管造影、胆道ドレナージ、EST、ステント留置などの診断・治療手技を見学する
 - ⑤ ERCP・interventional EUS関連偶発症の予防策、術後管理、発症時の初期対応について学ぶ
 - ⑥ 胆膵カンファレンスに参加し、症例ごとの臨床的思考過程を習得する
 - ⑦ 胆膵疾患に関する最新の情報を文献検索して報告する
 - ⑧ 担当症例または見学症例についてケースレポートを作成する
 - ⑨ 毎回研修終了時に指導医との討議の場を設け、質疑応答およびフィードバックを受ける

5) スケジュール

No	日時	研 修 項 目	指 導 医	場 所
1		オリエンテーション、施設見学、 スタッフ紹介など		カンファレンスルーム 内視鏡室
2		内視鏡診療・カンファレンス参加、 講義、フィードバック		カンファレンスルーム 内視鏡室
3		内視鏡診療・カンファレンス参加、 講義、フィードバック		カンファレンスルーム 内視鏡室
4		内視鏡診療・カンファレンス参加、 フィードバック		カンファレンスルーム 内視鏡室
5		内視鏡診療・カンファレンス参加、 フィードバック		カンファレンスルーム 内視鏡室

6		内視鏡診療・カンファレンス参加、 フィードバック		カンファレンスルーム 内視鏡室
7		内視鏡診療・カンファレンス参加、 フィードバック		カンファレンスルーム 内視鏡室
8		内視鏡診療・カンファレンス参加、 フィードバック		カンファレンスルーム 内視鏡室
9		内視鏡診療・カンファレンス参加、 フィードバック		カンファレンスルーム 内視鏡室
10		内視鏡診療・カンファレンス参加、 フィードバック		カンファレンスルーム 内視鏡室
11		内視鏡診療・カンファレンス参加、 フィードバック		カンファレンスルーム 内視鏡室
12		試験、修了認定		カンファレンスルーム 内視鏡室

評 価：

- 1) 指導医による研修レポートおよびケースレポートの評価
- 2) 実地試験（胆膵疾患症例に対する診断およびERCP・interventional EUS適応判断・周術期管理に関する評価）
- 3) MCQ（プレ・ポストテスト形式）

修了認定：

評価基準を満たしたものにコース修了証書を授与する